

シリーズ 父の認知症 その1

「水道管が破裂して水が漏れよるー!」

「早よ拭いてー!」

今から三年前の二月半ば、父が寝ているベッドの側の壁伝いに見える電気コードを指差し、手をのばして引きちぎろうとする父を

「あれは水道管じゃないよ!」

「水なんか漏れてないじゃないの!」

困惑して宥める母。

老々介護で一睡もできない母からの、悲鳴にも似た電話で実家に駆けつけた時の両親のやり取りです。

この出来事から遡ること三、四年前から父の認知症は徐々に進行していたようです。



- ◆ 今日が何日なのか、何曜日なのか分からない。
 - ◆ 同じことを何度も訊いたり言ったりする。
 - ◆ 自分が言ったこと、した事を忘れる。
 - ◆ いつも同じ所で道を間違える。
 - ◆ 車の運転中、時に運転の仕方を忘れる…など。
- 父がボケ始めたという話を母から聞いても、私はあまりピンときませんでした。
- 物忘れに始まり、昼夜逆転、幻聴幻視、せん妄、入院、死の淵からの奇跡ともいえる快復、そして死。
- 父の認知症について数回に分けて綴ってみようと思います。

つづく

中国ことわざ養生訓

「未病先防 (ウェイビンシェンファン)」

予防にまさる治療なし。大病しないよう日頃から養生を心がけましょう。

春の炊き合わせ

『まいにち、養生ごはん』生活クラブ薬膳の会著より

材料 (4人分)

- 鶏むね肉……………2枚(約240g)
- こんにやく……………1/2枚
- にんじん……………2/3本(100g)
- ふき(ゆでたもの)……………2本分
- スナップえんどう……………20g
- しょうが……………1かけ
- 長ねぎ……………10cm
- 酒、しょうゆ……………各大さじ1
- A 砂糖……………大さじ2/3
- 塩……………小さじ2/3

- 酒 塩 片栗粉 ごま油

下ごしらえ

- ① 鶏肉は皮を取り、ひと口大のそぎ切りにして酒大さじ1、塩少々をふる。
- ② こんにやくはひと口大にちぎり、塩少々を入れた熱湯でゆでてざるにあげる。
- ③ にんじんはいちよう切り、ふきは3cm長さに切る。
- ④ スナップえんどうはさつと塩ゆでにする。
- ⑤ しょうがと長ねぎはみじん切りにする。

作り方

- ⑥ 鍋にごま油大さじ1、しょうが、長ねぎを入れて火にかける。熱くなったら鶏肉を炒め、にんじん、ふき、こんにやく、水3カップ、Aを入れて煮、④を入れてひと煮する。
- ⑦ 片栗粉大さじ1杯半を同量の水で溶いて⑥に混ぜ入れ、とろみをつける。



春野菜 ふきには解毒作用があり、血液をきれいにします。